

しゃきょう

# 「写教の会」のご案内

～教えの言葉を書写しましょう～

「写経」と、字を間違えたわけではありません。教えの言葉を書き写す、ということ大切にしたいと思い、「写教」といたしました。

まずは、私たちにとって日ごろから親しみのある「正信偈」を書写し、心静かなひと時をお過ごしいただきたいと思います。

上手・下手は関係ありません。書いたことが功德になるわけでもありません。ただ、お一人お一人が静かに教えの言葉に向き合うことを、願いいたします。ぜひ、お誘い合わせのうえ、ご参加ください。

日 時：2025年7月23日（水曜日） 午後14時～17時のあいだ

※何時にお越しいただいても結構です。

お好きな時間に、お好きなだけ、出入り自由です。

今後の予定は、8月20日、9月17日になります

会 場：光明寺2階、客間



参加費：無料（簡易的なお手本と半紙はこちらで用意いたしますが、1,500 円で本山の書写本もあります。まずは、お寺で用意したお手本から始めましょう）

持参物：書道道具は各自でご持参ください

※筆ペンでも結構です。書き易いやり方でご参加ください！

申込み：不要です ※ご不明な点は、お問い合わせください（お寺 03-3644-3043）

◆三密を避け、消毒・除菌に十分配慮いたしますので、マスクの着用は個人のご判断を尊重いたします。お出かけ前には検温し、無理をせずご参加ください。



◆どなたでもご参加いただけますので、お誘い合わせのうえお越しください。

◆指導者のような先生はいません。

お一人お一人、ただ書くのみです。

◆疲れたら、本堂でお茶をお飲みいただけます。

◆忙しい毎日、静かな時間をお過ごしください。

どうぼう

# 光明寺同朋の会

～『<sup>たんにしょう</sup>歎異抄』には何が書かれているの？～

Zoomでの参加も可能！ 詳しくは下記参照！

『歎異抄』は、いつの時代も多くの人々に読まれてきました。一体何が、その人々を惹きつけてきたのでしょうか。

『歎異抄』は、親鸞<sup>おうえん</sup>聖人の著作ではありません。直筆が残っていないのですが、お弟子さんであった唯円という方がまとめられたものであると伝えられています。

『歎異抄』という名前に表されているのですが、唯円さんが、親鸞聖人が関東（茨城）から京都へ帰られたのちに、門弟たちの間で親鸞聖人から教えていただいたことと「異<sup>こと</sup>」なる了解のあることを「歎<sup>なげ</sup>」いて書かれたものなのです。

前半第1章から第10章までが師訓篇と言われ、親鸞聖人からお聞きしたことなどを書き留めておられます。後半第11章から第18章までが「異義<sup>いぎ</sup>（歎異）篇<sup>たんにへん</sup>」と言われ、私たちも陥<sup>おちい</sup>りやすい「異義」について批判されています。

ゆっくりと読み進めてまいりたいと思います。ぜひ、ご参加ください。

日時: 2025年7月26日（土曜日） 午後14時～16時30分  
※毎月1回、土曜日に開催予定

今後の予定は、8月23日、9月27日です

会場: 光明寺本堂と2階の客間（椅子席です）



日程: 14時 開会（皆さんで一緒に「正信偈」をお勤めします）  
14時30分 法話（当寺住職が『歎異抄』や親鸞聖人についてお話しします）  
15時30分 茶話会（質問や感想など、話し合いの時間です）  
16時10分 仏事ひとくちメモ  
16時30分 散会

Zoom: 会議 ID: 953 5707 6868 パスコード: 684089 分からない方には説明いたします。

会費: 500円（茶菓代・お寺のみ） ※別途テキスト代金250円

申込み: お寺までご連絡ください。☎03-3644-3043 ✉koumyouji@koumyouji-fukagawa.or.jp

◆三密を避け、消毒・除菌に十分配慮いたしますので、皆さまにはマスクの着用をお願いいたします。お出かけ前には検温し、無理をせずご参加ください。

◆浄土真宗の門徒さんでなくても結構ですので、お誘い合わせのうえ、ご参加ください。